

第23回

さいたま市外国人による 日本語スピーチ大会

テーマ「さいたまの魅力みつけた！」

CONTENTS

- ① イベント
- ② コラム
- ③ ご案内



最優秀賞

グレイ・ナイラさん
(フィリピン)



優秀賞

アシャ ヌルハサナ ハビルンさん
(インドネシア)



特別賞

ナディヤ ムフリハティ アリファーさん
(インドネシア)

2月8日(土)、浦和コミュニティーセンターで第23回さいたま市外国人による日本語スピーチ大会を開催しました。今回は6ヶ国から10人が参加しました。

この大会は日本語を学んでいる外国人市民が日常の中で、感じたことや考えたことを発表する機会を設け、さいたま市民が外国人市民の視点や考え方に触れることで、相互理解と交流を深め、多文化共生社会の推進を図ることを目的としています。

今年のテーマは「さいたまの魅力みつけた！」です。最優秀賞を受賞したフィリピンのグレイ・ナイラさんは当初、さいたまの魅力に気づきませんでした。母国フィリピンにある海がまったくなかったからです。ところがその後、いろいろな所に出かけてみると、さいたまの魅力に気づくことができました。週末の公園では子どもたちの笑い声が聞こえ、家族が安心して過ごせる優しい環境が多くあります。さいたまは本当に魅力的な所ですと、熱弁をふるい、最後に「ごめんね、さいたま」と、メッセージを送ってくれました。そのほかの発表者もそれぞれ素晴らしく、さいたま市で、頑張っている発表者のエネルギーが会場全体を包み込んでいました。

第23回さいたま市外国人による日本語スピーチ大会



2025年 着物着付け体験会

三の鳥居前で



神主さんと一緒に



参拝



白蛇の干支絵馬と



1月19日(日) 着物着付け体験会を氷川の杜文化館で開催しました。外国人には、たいへん人気の高いイベントです。例年応募人数が定員より多く、今年は34名もの応募人数となり、定員20名の予定を、選考の際に増やし、最終的に15カ国24名(男性3名)の外国人が参加しました。

アフリカのナミビアからの埼玉大留学生も、母国にはない初めての着物着付け体験に感動していました。

着付けをしてもらったあと、折り紙、風呂敷の包み方の文化体験をしてから、武蔵一之宮氷川神社に3班にわかれて初詣。今年の干支の、縁起の良いとされる白蛇の「干支絵馬」の前で記念撮影をしました。

最後に全体写真の撮影を行い、着物と笑顔の素晴らしい写真は、忘れられない日本の思い出となることでしょう。

(着物着付け体験会はIEC NEWS50号までの歴史のなかで、2013年2月発行の3号から、コロナで中止になった年を除き、毎回掲載してきました)

MY ボランティア STORY



昨年の着物着付け体験会

昨年国際ふれあいフェアから、新実行委員長として活躍されている平田繁さんのお話です

思い起こせば、いつ頃からIECにお世話になっているのか、もう記憶がなく、古い手帳を調べると、2002年1月に「さいたま観光国際協会」の前身の「大宮観光コンベンションビューロー」の会員として総会に参加していました。その4

月には「さいたま観光コンベンションビューロー」となり、姉妹友好都市委員会ができてからは、そこに入っています。

委員会では、6つの各姉妹友好都市との交流のため、大使館を訪問したり、国内の他の交流協会との交流、勉強会を実施しました。



スイス・ユングフラウヨッホにて

最近では、カナダのナナイモ市の市民団体ともオンラインで交流しています。

またコロナ前には、2014年10月にメキシコ・トルーカ市、2017年11月に中国・鄭州市に市民訪問団として参加し、交流を深めました。

他にも「国際友好フェア」や「国際ふれあいフェア」の実行委員として活動し、姉妹友好都市の広報に努めています。毎年のお正月には留学生に、着物を着付けて「武蔵一宮 氷川神社」に初詣を体験してもらうイベントなども、手掛けています。



昨年始めたサーフィン

生まれは横浜、幼稚園から浦和で、現在は建設会社を営んでいます。現在の趣味は登山、海釣り、旅行がメインですが、昨年夏からサーフィンを始めました。

身体の許す限り頑張りますので、よろしくお願いいたします。



茨城沖で大型ヒラメの釣果

START!

IEC News

2012年6月

さいたま観光国際協会の
発足とともに発行!



2013年度
公益社団法人に
なりました

2014年度
トルカ市との
姉妹都市提携
35周年



2016年度
現在も活躍中CIRの
紹介記事掲載。
詳細はHPで!

これまでのIEC NEWSは
国際交流センターのHPに

2015年度
ボランティア
事業が一新

IEC News 50号! 感謝と未来

永年IEC Newsを支えてくださった皆さまに心より
感謝申し上げます。

創刊以来、このIEC Newsは地域の国際交流の架け
橋として、多文化共生に貢献してきました。「ここには
さいたま市の国際交流の今と未来がある」創刊号に
記してあるように、異文化理解を深める情報発信、地
域住民と在住外国人との交流を広げる役割は、現在も
受け継がれております。

記事寄稿・編集にたずさわったボランティアの皆さま
、そしてIEC Newsを愛読し、応援して下さる会員
や地域住民の皆さまの熱意とご支援があったこそ、
50号という大きな節目を迎えることができました。

グローバル化が進む現代において、多文化共生は重
要な課題です。地域における国際交流の重要な情報発
信基地として、更なる発展を遂げられるよう、皆さま
のご支援を今後とも宜しくお願い申し上げます。

公益社団法人さいたま観光国際協会
国際交流センター所長 林 照彦

2017年度
20号発行
センター特別企画
の様子を掲載

2020年度
コロナ禍で対面交流が
自粛の中、
頑張りました!

2023年度
思い切り対面交流
楽しめました

2021年度
少しずつ
対面交流が動き
始めました

2019年度
30号発行
ふれあいフェア
台風で延期に!

2024年度
50号発行
取材のご協力
ありがとうございます。

2022年度
オンライン交流で
海外姉妹都市が
より身近に!

2018年度
国際交流の
楽しさを
ご紹介!

Now we are here.



2012年6月の発行から13年。2025年3月、50号発行となりました!

Goes on

初級

A B C D E

英会話講座



シェリー先生(講師)とその出身地を示す地図(左上)



講座風景



講師が受講者を回りアドバイス



講師と受講者が一緒に記念写真

昨年11月11日から12月23日の間に計5回(1時間半/回)、基本的な表現を学ぶ英会話講座を多目的室で開きました。講師は、カナダ・ブリティッシュコロンビア州・ナナイモ市*1出身のシェリー マシューズ*2さん。講座の目標は、「趣味、招待、好き嫌い、ホテル・レストラン予約を英語で表現できるようになる」でした。

受講者は、先生からの英語による説明を聞き、配付資料を参考にしながら、質問に英語で答えていました。また受講者同士がロールプレイングし、その中に先生が交じりアドバイスを受けながら正しい表現を学んでいました。毎回、講師からカナダで訪れて嬉しい場所の紹介がありました。受講の理由で一番多かったのは、「生の英語を聞いて、海外に旅した時に役立つ」でした。

国内にいても、急増しているインバウンド旅行者から突然英語で話しかけられることが、今は普通の出来事かもしれません。この講座での学びがそんな機会にも役に立つに違いないと、その瞬間を思い浮かべました。

*1 ナナイモ市は、さいたま市の海外友好都市のひとつ

*2 ニックネームShelly; Rochelle Matthews先生(埼玉大学大学院生)



「国際友好フェア2025」

開催予告!!

日時●2025年5月3日(土・祝) 4日(日・祝)
9:00 ~ 16:00(4日は15:00まで)

場所●市民の森・見沼グリーンセンター
(JR土呂駅から徒歩8分)

内容●市民国際交流活動団体による活動内容紹介、
民族料理・各国物産品の紹介・展示・販売、
ステージイベント、海外姉妹・友好都市の紹介など



編集後記

今年度、さいたま市を折句*1にしてお届けしてきました。楽しんでいただけましたでしょうか。今回折句は一旦終了です。



さらさらと
いつも筆運ぶ
たのもしき
まじめな若人
すっかり頼むぞ

さて、最近の江戸時代を舞台にしたTVドラマの主人公にも関係する、どんな俳句や短歌も狂歌*2に変える「万能下の句」とも言われる、七・七をご存じですか。それは便利と言うか、そんな馬鹿などと思われるかもしれませんが、本当にあるのです。これを教えて下さったのは、れっきとした国語の先生です。

この答えは来年度最初の51号でお伝えします。

*1 和歌・俳句・川柳などで、各句の頭に物の名などを一字ずつ置いて詠んだもの

*2 5・7・5・7・7の定型にのせて社会風刺や皮肉、滑稽を盛り込んだ和歌



公益社団法人 さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F (JR浦和駅東口 浦和パルク上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL <https://stib.jp/international/>

